

GP 通信

発行

大垣女子短期大学

GP 専門部会



独立行政法人日本学術振興会は、「平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果(選定理由)」を発表しました。本学についての選定理由は次のとおりですが、GP専門部会では評価された内容は積極的に実施し、課題とされた内容はその克服を目指していきたいと考えています。皆さまのご協力と積極的な実践をお願いいたします。

教育GPの選定理由を公表

この取組は、建学の精神を基盤に地域から信頼され、親しまれ、愛される大学づくりを目指し提案されたものである。この取組の背景には、大垣市を中心とする西濃地方における要請を受けた「大垣市と大垣女子短期大学との連携に関する協定書」に基づき包括協定を締結したこと、10年前から地域の要請もあり、教育内容の充実ということから「発達相談室」の設置にはじまり、「幼児教育祭」各科の特徴を生かした各種演奏会・展示会、大垣歯科医師会との連携による保健・栄養指導の実績があり、今後の実現性に向けて大きな意義を有するものである。さらに、「子育てサロン」については、取組に対応すべく幼児教育科は「保育実務研究」等、他の3学科は「総合教養演習」などをカリキュラムに位置づけたり、4学科教員等による「図書・生涯学習委員会」の主眼的運営、大垣市との包括協定に基づく連携などの環境整備は評価に値する。ただし、短期大学士としての質の高い教養教育の充実と体験学習、行事的な活動としての意味合いを含んでいる「子育てサロン」とをどう結びつけていくのか、大学が知識基盤社会を担う優れた人材養成を視座した教育方法の工夫改善を主とする取組であるが故に、ややもすると学生はイベント参加的なものになり、各学科がそれぞれ得意技の披露となってしまうことも考えられるため、この点については改善が望まれる。今後は、その実施体制(財政的措置を含めたマネージメント、FD・SD活動としての教職員の体制、法人としての支援体制)、評価体制、4学科参加の意義、連携の相乗効果など特色を打ち出し、成果を上げることが期待する。

教育GPに選定されて 中野学長へ

今回、このGPに選ばれたことは本学としては大変喜ばしいことです。

いかに学生の教育をよいものにするかとの取り組みが総合短期大学の全学科一致した協力体制で行われていたことが評価されたと思います。今回は昨年からの子育てサロンが軌道に乗り始め、子育て日本一をスロガンに掲げている大垣市との包括協定によって行政との協力体制が整ったことも大きな要因と思われるます。厳しい選考の中で選ばれたことに対して、本学の教育基本理念に間違いが無いことを再認識するとともに、この選考を有意義にするためにさらに前進する心構えを新たにしたいと思えます。

今後の期待

今後はこの厳しい難関を通過できたGPの選考結果を重大なものとして受け止め、今まで以上に全教職員が一丸となって前進すべきであ



と思います。本学は4学科があり、それぞれ教育内容は異なりますが、学生は卒業時には短期大学士という学位が授与される以上、専門知識と一般教養を身につけた「短期大学士力」を涵養し、一般社会に喜ばれる人間性豊かな人材の養成に努める必要があると思われます。すなわち明確なdiploma policyを念頭に入れた教育の徹底を図っていく必要があると思われます。今回は子育てというテーマで本学の教職員と行政との深い関係ができていますが、今後はさらに地域社会とも深い関係を保ちながら、建学の精神に謳われている社会に役立つ人材の育成に邁進していきたいと思えます。